

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 9-3-1	事務事業名 交通安全協会補助金	所管部課 都市整備部道路管理課
----------------	--------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	市内の交通事故を減少させ、安全で快適な生活環境をつくる。又、地域の実情に合わせた交通安全啓発活動を推進する。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 安全で快適な市民生活の確保に資する事を目的に、交通安全対策活動を行う西東京市交通安全協会に対して、その活動に要する経費の一部を補助する。 (予算事業名 08.01.03.01交通安全推進事業費(交通安全協会補助金))	
事業開始時期	平成13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	事業費(A)			1,900	1,900	1,900
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0
	その他 ()		0	0	0	0
	一般財源		1,900	1,900	1,900	1,900
所要人員(B)	人	0.04	0.04	0.04	0.04	
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	327	308	317	328	
臨時職員賃金等(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	2,227	2,208	2,217	2,228	
単位当たりコスト (E)=(D)/ (補助金対象額)	千円	1	1	1	1	

評価指標の設定	活動等指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	① 補助対象額	実績値 千円	1,900	1,900	1,900	1,900
② 補助金交付額/補助対象額	実績値 %	640	640	640	640	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 春・秋の交通安全運動、総合防災訓練、放置自転車クリーンキャンペーン、サマーフェスティバル警備、市民まつり警備、各小学校のまつり警備、公民館まつり、交通安全講習会等参加等幅広く活動している。						
評価指標の設定	成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	一次 活動回数	目標値 回	30	30	30	30
		実績値 回	32	32	32	32
	二次	目標値				
実績値						
《指標の説明・数値変化の理由 など》 春・秋の交通安全運動、総合防災訓練、放置自転車クリーンキャンペーン、サマーフェスティバル警備、市民まつり警備、各小学校のまつり警備、公民館まつり、交通安全講習会等幅広く活動している。						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	西東京市の交通安全対策事業に協力して頂き、春・秋の交通安全運動や放置自転車クリーンキャンペーン等は街頭活動を行い好評を得ている。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	代替・類似サービスはない。

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	3	改善・見直し	交通安全講習会開催、春・秋の交通安全運動、市内小中学校の社明あいさつ運動協力、サマーフェスティバル警備、商店会・自治会盆踊り警備、総合防災訓練等参加、国体ティールポール警備等幅広く活動を行っている。 交通安全協会の活動は今後も重要であり、継続的に補助金による支援は必要であるが、長年にわたり補助要綱の見直しが行われていない。 今後は、補助要綱を改正し、補助率・補助対象経費・補助基本額を検討する。
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	1		
B	直接のサービスの相手方	3		
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	改善・見直し	交通安全協会は、自ら会費を支払って参加する市民ボランティアとして春秋の交通安全運動をはじめさまざまな交通安全活動に取り組んでいる。その活動は市民に期待されており、今後もその活動に対する市の支援は必要性が高い。 しかし、交通安全協会補助金については長年にわたり見直しが行われていないことから、補助制度の検証を行う中で、目的や補助基準を明確にするなどの見直しを実施すべきである。 また、交通安全協会の実情を把握した上で、補助制度以外の支援として、市ホームページ等での活動紹介などを通じた交通安全活動の協働の取組みも検討されたい。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	1		
B	直接のサービスの相手方	3		
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
対象外	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
改善・見直し	交通安全協会は、公益性の高い活動を行っていることから、その活動に対する支援をする必要がある。 しかし、本事業は、見直しが長年されていないことから、その目的等について検証する必要がある。また、補助要綱において補助率の定めがなく、実質的に190万円の定額補助金となっており、行財政改革推進委員会においても、この点について補助制度全体に対し課題を指摘されていることから、早急に見直しを図られたい。 今後は、本事業の補助基準について早急に適正化を図るとともに、補助金以外の支援についても検討されたい。

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	補助要綱を改正し、補助率・補助対象経費・補助基本額を見直していく。 平成27年度：見直し実施
---------------	---